

レジメン名称	1コース	催吐性リスク
PerutuzumabTrastuzumab	21日間	最小度催吐性リスク

滴下順	薬剤	用量	ルート	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1	生理食塩液	100mL	メイン	30分	●																				
2	ペルツズマブ*, ** 生理食塩液	初回840mg 維持420mg 250mL	メイン	1時間	●																				
3	生理食塩液*	100mL	メイン	1時間	●																				
4	トラスツズマブ*, ** 生理食塩液	初回8mg/kg 維持6mg/kg 250mL	メイン	1時間30分	●																				
5	生理食塩液*	100mL	メイン	1時間	●																				

*初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は生理食塩液も含め30分間まで短縮できる。

**前回投与から6週間未満の場合、ペルツズマブ維持投与量420mg、トラスツズマブ維持量6mg/kgを投与。

前回投与から6週間以上の場合、初回量に戻すためペルツズマブ初回量840mg、トラスツズマブ8mg/kgで投与。